



ウルムホッカーのレプリカ製作

ウルムホッカー（ウルムスツール）は、1953年に旧西ドイツで開校した「ウルム造形大学」の学生のためにデザインされた椅子です。初代学長を務めたマックス・ビルは多目的な機能を持つ椅子として「サイドテーブルや講義机」「書籍を運ぶトレイ」「本棚」「踏み台」としても使用できる設計を行いました。無駄な構造を削ぎ落とした設計は、まさにミニマムデザインであり、設計から70年近く経つ今も製造されています。このウルムホッカーを実測・製作することにより、木製家具の基本的な構造と木工機械の操作方法を学ぶことを目的にレプリカの製作を行いました。